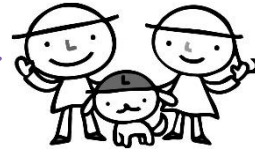


りとるらいふ通信

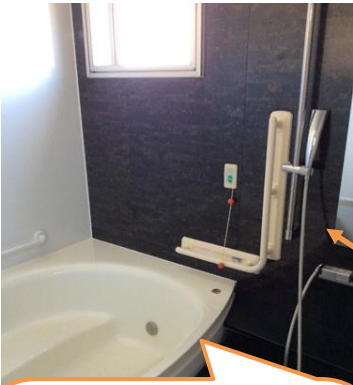
(社福) みんなでいきる
障害福祉事業部りとるらいふ
発行日：2020年10月

暑い夏を乗り越え、秋がやってきました🍁芸術、スポーツ、食欲...、秋に当てはめられる言葉が沢山ある中で、今年の秋は皆さんの中でどのような言葉が思い浮かべられるでしょうか？是非思い浮かべて楽しい秋をお過ごしください🍁
さて、今月号で事業所紹介をお届けするのは最後となりました☆
10月は「ぶあん」「ふぁみりあ」の2事業所をピックアップしてお届けいたします🐱



事業所紹介～ぶあん・ふぁみりあ～

ショートステイ ぶあん



お風呂は全部で2箇所あります。必要な方には職員が見守りや介助を行わせていただきますが、他のご利用者様と一緒にいることはありません。シャンプー、タオル完備なのでご利用の際はお着替えと洗面用具だけあればOKです♪



りとるの家「はなれ」の2階にぶあんがあります。エレベーター完備の為、車椅子の方や歩行が不安定な方も安心してご利用頂けます。



居室は和室タイプ4床、洋室タイプが4床の合計8床です。緊急の場合を除き最大で8名が泊まっています。ご利用者の生活スタイルやお体の状態に合わせて居室を選んでいただき、自由に過ごしていただけます♪

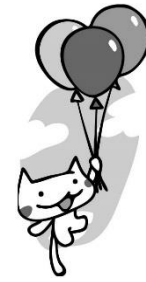


食事はリビングに集まり食べていただきます。賑やかな場所が苦手な方や一人で召し上がりたい方には無理をせず居室でのお食事も勧めています。生活場面での色々な選択肢をぶあんでは提供しています。



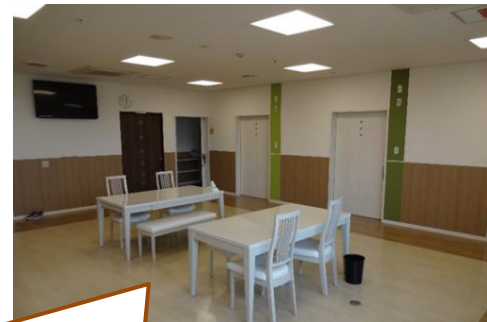
9月末～ぶあんで日曜日限定「プチお楽しみ」を始めました♪第一弾はアイスパイクングを行いました。今後は簡単な調理活動等も考えているため、興味のある方は是非お問い合わせください。

「ぶあん」と「ふぁみりあ」の大切にしていることは？



「ぶあん」はご家庭の事情や将来を見据えた一時的な宿泊にあたり、ご家庭に次ぐ、「第二の家」として家庭的な雰囲気を大切にしています！

「ふぁみりあ」は複合型施設の中にあつて、障がいの有無や年齢を問わず、地域に住む様々な人と繋がることのできる場所になっています☆



リビングと居室（6部屋）「こーと」
広々としたリビング大型テレビも設置してあります。



食事は委託業者が作りませんが、食器は家庭用の陶器食器を使用し、盛り付けは「ふぁみりあ」で行ないます。
食事を楽しく一環として「おにぎりの日」を設け自分でおにぎりを作ります。

グループホーム ふぁみりあ



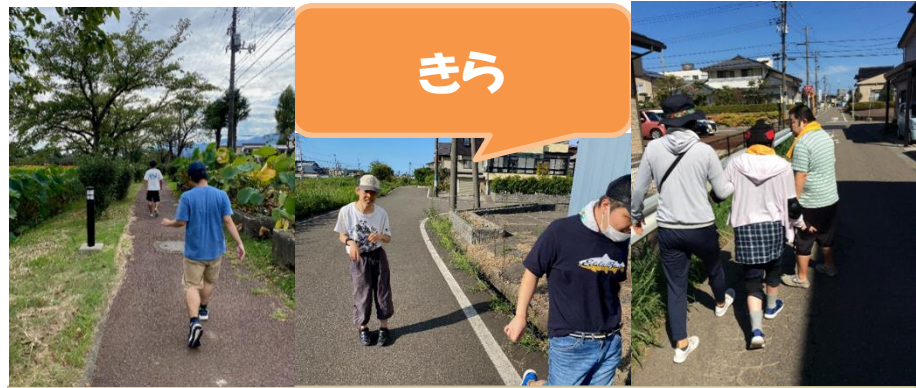
外観の緑色の由来は「りとるらいふ」の原点の借家のカラーの色です。
現在14名のご利用者様が生活しています。



月に1度の調理イベント
9月は「ふぁみりあ」でお菓子を作りました。入居者さんは菓子職人になったつもりで一生涯飾りつけです。

グループホーム「ふぁみりあ」特製うさぎ饅頭が完成！
余暇活動としてお菓子作りや近所の食堂にてご飯を食べたりしています。





きら

きらでは日課として毎日 30 分程度、散歩に出かけている利用者さんがいます。夏の間は気温が高く、また今年は 9 月に入っても 30 度を超える猛暑日が多くありましたので、晴天であっても熱中症の恐れもある為、散歩が行なえない日が続いていました。そして 9 月中旬になり、ようやく気温も涼しくなってきました。よく晴れた日も、風が心地よく感じられるようになり、毎日爽やかな気分散歩に取り組んでいます。「もうすぐ紅葉が始まるかな？」散歩中に見られる季節の変化も楽しみです。



とも

9月のともは祝日開所で豚汁・きのこご飯作りをしました！秋の味覚であるきのこをさいたり、豚肉を切ったりと一人お一人が作業に取り組み、美味しいご飯ができました。皆様おかわりされ、秋を感じられています。



にこ

9月14日から一週間、フリー参観を開催しました。期間中はこれまでの活動報告として、たくさんの写真を掲示し、余暇活動として白玉パフェ作りや工作をして、ご家族の皆様にも活動の様子を見ていただきました。今後にもこの活動を知っていただく機会を作っていけたらと思います。お越しいただき、ありがとうございました。



ららん

9月のららんイベントは【ぶどう祭りに行こう☆】あいにくの雨でしたが、試食用のぶどうを頬張る笑顔が見られました。猛暑の影響で、ぶどう園がシーズンオフとなった二回目は、ららん室内でぶどう祭り体験！そしてお土産のぶどうと、ぶどう染めた手作りトートバッグを手に「楽しかった♪」「気に入りました(^_^)」と言ってくれる言葉がなにより嬉しかったです。



もーと



9月に開催いたしました『もーと・ブリュット』！皆さんはご覧になりましたか？1週間の展示の中で子ども達の素敵な作品や日常を多くの方に見ていただけたと思います。また12日には参加して下さった保護者様に子ども達が抹茶をたて楽しんでいただきました！子ども達も使い慣れない道具に苦戦しながらたてた抹茶は成長の味ですね！



「そこに山があるから」

障害福祉事業部 りとるらいふ 生活介護きら 主任 大滝 健一

登山を趣味、生きがいとしている、きらの大滝です。山が現実で普段が非現実と感じたこともあるほど、山登りの魅力に取りつかれました。ただ、なぜ山が好きかと問われると、なかなかまい言葉が思い浮かびません。

「なぜ山に登るのか。そこに山があるから。」と答えたイギリスの登山家、ジョージ・マロリーの有名な言葉があります。今では非常に哲学的な意味で捉えられています。ただ、マロリーは、エベレストになぜ登るのかをしつこく質問してくる新聞記者を煙に巻くためにその発言をしたとも言われています。

山の楽しみ方は人それぞれ。スピードを競って登るのを楽しむ人がいれば、山でのご飯を楽しむ人もいます。私の場合は山に登っている途中に楽しいと感じることはほとんどなく(正直、きついし、つらいし)、登った先の稜線の山小屋や山頂からビールを飲みながら景色を眺めている時と、下山後に今回の山登りを振り返りながら、自宅でビールを飲んでいる時に幸せを感じます。(山好きではなく、単にビール好き?)それから、下山して登山口に到着した時、だいたい心の中で、「あー楽しかった。」という言葉が自然に出てきて、また山に来たいと感じます。「あー楽しかった。」と感じ、また次の山旅までの日常を過ごす、その為に山に登っているのかもしれない。山に登るのは、「楽しいと感じられるから」と言うのが私の山に登る理由なのかもしれません。もっと簡単に言えば、「山が好きだから」ということでしょうか。

山登りと同じく、自分がなぜこの福祉の仕事をしているのかを考えることがあります。利用者さんから元気や笑顔をもらうことに喜びを感じることも多いですが、正直、支援を考えたり、実践したりしている途中は、うまくいかなかったり、つらいことも多いです。では、なぜ私はこの仕事をしているのか、その答えは、「楽しいと感じられるから」もっと簡単に言えば、「この仕事が好きだから」なのでしょう。

山登りには綿密な計画と、山行中の冷静な判断力が必要なと同じように、この仕事にも理論に基づけられた計画的な実践、その時その時の的確な判断、決断が必要です。それと同時に、楽しいものを楽しみと思える、無邪気で少年のような心が山登りにもこの仕事にも必要と感じています。私たちが楽しめなきゃ、利用者さんが楽しめるわけがないので。Over40として、そろそろ年齢に見合った山登り、仕事のスタイルを考えながら、同時に「永遠の少年」のような心を持ち続けたいと考えている今日この頃です。

製作紹介 by にこ



土曜日の活動にてコースター作りをしました。

丸く切ったコルクボードにシールや飾りを貼って、可愛らしいコースターの完成です！